

世界初のクレジットカードは 「財布忘れ」から生まれた？

世界初のクレジットカードがどのような形で生まれたのかご存じですか？時はさかのぼること75年前、ニューヨークの実業家フランク・マクナマラ氏はある夜レストランで食事を楽しんだ後、財布を忘れていたことに気づきました。同席者が支払いを立て替えてくれたことで難を逃れたものの、彼はこの経験を非常に恥ずかしい、不便に感じました。この経験がきっかけとなり、「現金がなくとも信用で支払える仕組みを作ろう」と決意。彼は弁護士のラルフ・シュナイダーと共に、会員制の支払いネットワーク「ダイナースクラブ」を設立します。

最初のカードは紙製で、使えるのはレストラン18軒、会員はわずか28人という小規模なものでした。カードの仕組みは、加盟店で食事をし、カードで支払い、後日まとめて利用者に請求するという、現代の「後払い」方式の原型です。名称は、ダイナース「Diners」は食事をする人を意味し、もともとはレストラン専用カードとしてスタートしました。

ことダイナースクラブカードはアメリカで評判を呼び、アメリカンエクスプレス（Amex）など他社も続々と参入しました。クレジットカード業界が一気に広がる契機となりました。つまり、世界初のクレジットカードは、ちょっとした「うっかりミス」が金融の歴史を動かした瞬間だったのです。

その後、カードは紙製からプラスチックへ変わり、利用範囲も食事に限らず、旅行、ホテル、ショッピングなど多岐に拡大。支払い手段としての地位を確立します。今日では、クレジットカードは現金に代わるグローバルな決済ツールとなり、非接触型やスマホ決済といった形でも利用されるようになりました。世界中で使われるクレジットカードの起源が「財布を忘れた」という日常のハズニングから始まったというのは、まさに人生の面白さとビジネスの原点を感じさせるエピソードですね。



鎌野

夏季休工

今日のSNSのニュースで、「国土交通省は近年の猛暑を受け、同省地方整備局発注の道路舗装などの土木工事を対象に、真夏の現場作業を休む「夏季休工」を導入する方針を固めた。工期が来年夏にかかる工事から試行的に始める。今夏も観測史上最も暑い夏となるなど、工事現場での熱中症リスクは年々高まっており、工事の時間帯を早朝や夜間にずらすといった対策も取り入れ、工事現場の労働環境の改善を目指す。」というのがトレンド入りしました。

確かに、この夏の暑さを考えると。健康面、効率等を考えても、妥当な方針だと思います。国土交通省にしては、かなり思い切った対策ですが、土木工事だけでなく、建設工事も同じにしてほしいですね。日本人は工期を守ることや、工期を短くすることに熱心な民族ですが、もう少し余裕をもった工期設定が普通になってほしいものです。今回のこの制度によって、少しは労働環境の改善がなされることを祈ります。

それにしても、地球温暖化による影響は様々なところに生じていますね。それに対応して、色々なことを変えてゆかなければならない時期に来ていると思います。人類が地下から掘り出した化石燃料を使い続ける以上、地球温暖化は止まらないでしょう。何十億年も掛かって、地下に閉じ込められていた炭素を、ここ150年ぐらいで、人類は地上に解き放ち、使い切るまでそれを辞めないでしょう。温暖化は、止められません。

英樹



配り

第
316
便

勝亦製材駿河鉄骨組

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

ぼつんとツバメのお宿残りたり
盛土の痕跡見上げて微笑む

ねがみともみ



なけなしの体力絞りて葉月過ぐ
残暑に歯痛おまけに小事故

勝亦
りつ子



富士山

昨年より挑戦を始めました河口湖美術館主催の富士山写真大賞に今年も応募しました。昨年は応募総数 1167 点の中から入賞が 50 点でしたが残念ながら入賞は叶いませんでした。昨年は富士山を写したもので応募したのですが、今年は富士山から撮影した景色で応募してみました。ですが、忙しくてなかなか本格的な撮影には出られず、今年は過去作品の中から良さそうなものを選んでの応募になりました。なんとか入賞できますように。

御殿場市民、富士山麓の市町村民にとって富士山は裏山のようなもので一番身近な山だと思います。ちょっとそこまで、と宝永山あたりまでお散歩なんてことも出来ましたが、今年の富士山は敷居が高かったように思います。御殿場口からは二子山、宝永山などのコースは入山料支払い対象外だったのですが、よりお手軽な富士宮口からのコースだと 1 回 4000 円の入山料の支払いが発生してしまうのです。これでは気軽に山に向かうことはできません。県民の福利厚生として自然休養林などのコース設定があるのに、そこに向かうのには気軽に行ける金額ではない。これはどうしたものか。もちろん安全管理やインバウンド対策、オーバーユース対策などの施策なのは承知しているのですが、県民にはもう少し優遇があっても良いのではないかと、この旨を「県民の広場」から投書させてもらいました。自然は身近にあってこそ大切に思うものだと思います。観ているだけではなく、いとおしく思える存在でないとダメなんです。

いつまでも美しい富士山を後世に残せますように。

柳田敏和



カレンダー

もう、9 月下旬となり当社の日めくりカレンダーが厚みの重さがなくなりひらひらしている。2026 年、来年のカレンダーの注文予約が入り、もうかい！！と思ったが、内容確認に作成、裁断など考えれば今から準備しないと間に合わないのだろう。最近はデジタル化が進みおまけに物価高騰、昔カレンダーは年末にお店に行けば頂けた、宣伝のためでもあるが、近年は手元に来るものが少ない。部屋に飾るカレンダー、好みもある。風景やイラストが大半をしめるカレンダーも壁の色や雰囲気と合えばいいが、そもそも壁に穴を開ける、吊るす。ということが出来る住宅か？ということから始まる。我が家は純×2 乗の和風の家、数字が大きくメモができ、遠くからでも見やすいカレンダーがありがたい。今はカレンダー機能はスマホで用が済み。予定記入にメモ書きもできる。設定すれば前日にお知らせしてくれる。まったく便利なスマホ。字で書くと覚えているがスマホで入力、何故か覚えていない。ああこれは世代か……。ペーパーレス化というが、紙の書類はなくなることはないと思う。大切なこと重要なことはメンドクサイ方がいいと私は思う。スマホは電話もかけることができるがほぼパソコンだ、一人一台手元にあるようになったスピードは速い。人間の欲の塊だろうか。現在昭和 100 年なので昭和初期の生活は想像するだけでぞっとする。朝起きたら竈に火を入れご飯を炊く。その火を使うために山へしばかりに行く。水は井戸から汲みだすのか？チン！はない。掃除機もないので箒で掃除しクイックルワイパーもないから雑巾がけ。雑巾もミシンがないから手縫い。洗濯機はないので桶に洗濯板の手動。絞りがあまそうだ。生きていく為に必死なので余計なことを考える暇がない。生活を楽しみに、現在かなあ。別に昔のような一日を送りたいわけではないしスマホないと不便なのだが、少し手間をかけた生活をする、なんとなく気持ちに余裕が生まれるような気がするなあ。

ねがみ



寒暖差アレルギー

秋の花粉症が出てきました。寒暖差アレルギーもあるみたいで不調な日が多くなってきた。「寒暖差アレルギー」とは、医学的には「血管運動性鼻炎」と呼ばれ、アレルギー反応ではなく温度変化などにより鼻の粘膜の血管が過剰に反応する状態をいう。一日の気温差が 7℃以上になると出やすく、透明でサラサラした鼻水、連続したくしゃみ、鼻詰まり、目の痒みは伴わないのが特徴。人によっては、頭痛、倦怠感、肩こり、寒冷蕁麻疹。自律神経の乱れと鼻の知覚神経の過敏が深く関わっており、アレルギー性鼻炎の方は知覚神経が過敏になって寒暖差アレルギーも起こしやすいらしい。今年は、冷房の部屋と暑い外との出入りで鼻炎がずっと続いていてティッシュと鼻炎薬が手放せなかった。地味につらい…。

治療は対処療法が中心で、薬もありますが、自律神経を整える生活をするのが大切で、体温調節のため衣類の調整やマスクの着用、手足首の保温。ぬるめのお風呂にゆっくり浸かる。規則正しい生活、十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動も良いそうです。



祥子